

第3版

# がん化学療法 副作用対策ハンドブック

副作用の予防・治療から、  
抗がん剤の減量・休薬の基準、外来での注意点まで

第3版の序	岡元るみ子	3
初版の序	佐々木常雄	5
Color Atlas		11

## 序 章 がん化学療法をはじめる前に

1 がん治療とチーム医療	岡元るみ子	18
2 がんの病状と化学療法について説明する	前田 義治	20
3 治療前評価を行う	前田 義治	26
4 標準治療と臨床試験	井岡 達也	31
5 小児～若年患者への気配り	川村眞智子	35
6 高齢者への気配り	岡元るみ子	40

## 第1章 抗がん剤の副作用と治療

### 総論

殺細胞性抗がん薬、分子標的薬	岡元るみ子	48
1 過敏反応、infusion reaction	岡元るみ子	50
2 血管外漏出	春藤 紫乃	58
3 骨髄抑制・血液毒性		
A. 白血球（好中球減少、リンパ球減少）	味八木寿子、辻村 秀樹	66

B.	赤血球減少・輸血療法	柳原 一広	75
C.	血小板減少	柳原 一広	81
<b>4</b>	<b>消化器毒性</b>		
A.	悪心・嘔吐 (CINV)	羽床 琴音, 辻 晃仁	86
B.	下痢・便秘, 麻痺性イレウス	羽床 琴音, 辻 晃仁	93
C.	口腔粘膜炎	白渕 公敏, 高子 利美	102
<b>5</b>	<b>循環器障害</b>	岡元るみ子, 川崎 智広	109
<b>6</b>	<b>肺毒性</b>	福田 滉仁, 細見 幸生	118
<b>7</b>	<b>肝障害</b>	下山 達	124
<b>8</b>	<b>腎障害</b>	下山 達	135
<b>9</b>	<b>神経障害</b>	佐々木栄作	145
<b>10</b>	<b>皮膚障害</b>	新井 敏子	154
<b>11</b>	<b>浮腫</b>	新井 敏子	166
<b>12</b>	<b>味覚障害</b>	味八木寿子, 辻村 秀樹	170
<b>13</b>	<b>栄養障害</b>	久保浩一郎	174
<b>14</b>	<b>眼障害</b>	五嶋 摩理	180
<b>15</b>	<b>筋肉骨障害</b>	宮越 浩一	186
<b>16</b>	<b>内分泌障害</b>	岡元るみ子	190
<b>17</b>	<b>精神症状</b>	赤穂 理絵	195
<b>18</b>	<b>性機能障害</b>	戸澤 晃子, 鈴木 直	208
<b>19</b>	<b>二次発がん</b>	湯坐 有希	216
<b>20</b>	<b>ウイルス感染</b>	川村真智子, 岡元るみ子	223
<b>21</b>	<b>化学放射線療法 (CRT) の副作用</b>	張 大鎮	232
<b>22</b>	<b>緊急処置が必要な副作用</b>	湯川 裕子, 有岡 仁	237

## 第2章 免疫関連有害現象の対策と治療(irAE)

総論	岡元るみ子	248
1 肺障害	加藤 晃史	250
2 消化器障害	水上 拓郎, 中島 貴子	254
3 内分泌障害	岡元るみ子	259
4 神経障害	田中こずえ	266
5 その他	林 秀敏	271

## 第3章 抗がん剤の種類

1 アルキル化薬	宮澤 真帆, 宮田 絵梨	280
2 代謝拮抗薬	宮澤 真帆, 宮田 絵梨, 香取 哲哉	286
3 抗腫瘍性抗生物質	宮澤 真帆, 宮田 絵梨	298
4 アルカロイド系	宮澤 真帆, 宮田 絵梨, 香取 哲哉	299
5 ホルモン製剤	宮澤 真帆, 宮田 絵梨, 香取 哲哉	310
6 白金製剤	宮澤 真帆, 宮田 絵梨	317
7 トポイソメラーゼ阻害薬	宮澤 真帆, 宮田 絵梨	321
8 分子標的薬	宮澤 真帆, 宮田 絵梨, 香取 哲哉	328
9 免疫チェックポイント阻害薬	宮澤 真帆	370
10 その他の抗がん剤	宮澤 真帆, 宮田 絵梨	375

## 第4章 レジメン別の副作用

1 脳腫瘍	田部井勇助	380
2 頭頸部がん	佐々木栄作	384
3 肺がん	福田 涼仁, 細見 幸生	386
4 乳がん	柿本 懿貴	395

<b>5</b>	<b>消化器がん</b>	
A.	食道がん・胃がん・大腸がん	長谷川依子 398
B.	肝胆脾がん	井岡 達也 404
<b>6</b>	<b>婦人科がん</b>	岡元るみ子 408
<b>7</b>	<b>泌尿生殖器腫瘍（腎・膀胱・前立腺）・胚細胞腫瘍</b>	金政 佑典 410
<b>8</b>	<b>骨軟部組織腫瘍</b>	五嶋 孝博 413
<b>9</b>	<b>甲状腺がん</b>	岡元るみ子 416
<b>10</b>	<b>造血器腫瘍</b>	
A.	白血病 (AML, APL, ALL, CML)	小林 武 417
B.	悪性リンパ腫	岡元るみ子 425
C.	多発性骨髓腫	伊勢美樹子 428
<b>11</b>	<b>特殊な治療</b>	小林 武 432
<b>12</b>	<b>免疫チェックポイント阻害薬</b>	岡元るみ子 435

## 第5章 抗がん剤投与の実際－安全と基本手技－

<b>1</b>	<b>がん化学療法を安全に施行するために</b>	
		照井 一史, 佐藤 温 438
<b>2</b>	<b>抗がん剤の投与手技</b>	中原 善朗 441
<b>3</b>	<b>ストーマ管理</b>	佐々木尚美 450
<b>4</b>	<b>曝露対策</b>	春藤 紫乃, 宮澤 真帆 453

## 付録

<b>付録1</b>	<b>副作用と支持療法薬一覧表</b>	宮澤 真帆 464
<b>付録2</b>	<b>CTCAE v5.0</b>	472
<b>付録3</b>	<b>体表面積表 DuBois式</b>	498
<b>付録4</b>	<b>全身状態 (performance status)</b>	500

付録5 RECIST v1.1 .....	501
付録6 自己免疫関連有害事象のモニタリング .....	岡元るみ子 503
付録7 バイオマーカーとコンパニオン診断薬 .....	葉 清隆 507
付録8 がん治療の情報収集 .....	長谷川 圭 512
索引 .....	513
執筆者一覧 .....	518

### column

アドバンスケアプランニング .....	22
就労支援 .....	24
遺伝性腫瘍 .....	44
傍腫瘍性神経症候群 .....	152
悪液質とアナモレリン .....	179
甲状腺クリーゼ .....	262
キメラ抗原受容体 (chimeric antigen receptor : CAR) を用いた遺伝子改変T細胞療法 (CAR-T療法) .....	424
中心静脈ポート .....	449